



駅前に建設中のビジネスホテル

- ・新幹線駅が開業してから時間が経つが、今現在ホテルの建設を行っていたり、まだまだ発展しそうな雰囲気が漂っていた。今まで東北新幹線のほとんどの駅を見てきたが、開業後に発展する所はなかった。
- ・土地区画整理では遺跡が出たため計画変更もあったがやすらぎ住宅ゾーンや商住複合ゾーンなど、住み分けできる目的を持った土地活用はとても参考になった。
- ・上越妙高駅前の商業地域の土地所有者が、自分たちで「駅周辺地区商業地域土地利用促進協議会」を設立。市は運営費の補助金は出すがサポートに徹し、官主導ではなく民間主導の企業誘致活動が行われた点が興味

深かった。民間主導であるため、土地価格のコントロールができたとのことである。

◆平成30年10月12日(金) 視察先：富山県富山市

○公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり

富山市は2007年、人口減少と高齢化社会への対応のため「持続可能なコンパクトシティ形成」という目標を掲げた。まちづくりの理念を「鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市諸機能を集積させることによる公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」とし、地域の拠点を「お団子」に、公共交通を「串」に見立てた「お団子と串」の都市構造を目指している。3つの重点施策として①公共交通の活性化②公共交通沿線地区への居住推進③中心市街地の活性化を掲げる。

○所感

- ・コンパクトシティ構想の実現へ向け、住民の合意形成のために3年間で100回以上のタウンミーティングを開催し、市長が直接説明をして歩いたとのこと。市職員が、トップのリーダーシップで街が変わった、と話していたのが一番強く印象に残った。
- ・駅の高架下に路面電車の発着場があり、乗換利便性の極めて高い交通拠点であると感じた。



富山駅前のジオラマ

◎まとめ◎

今回、上越市、富山市、越後湯沢駅、長野駅を視察したが、それぞれの自治体の駅周辺整備事業やまちづくりの取組が、行政が20年後50年後のまちを見据え地域住民の理解と協力を得て、あせらず現実を踏まえ実施していると感じた。我が町のこれからのまちづくりを進めるうえで、大いに参考とすべきである。

今回の調査で得た成果を生かし、行政・議会がそれぞれの立場で協力し合い、町民一丸となって新幹線を核としたまちづくりに向け邁進するべきである。そのためにも本特別委員会としてさらなる調査・研究に取り組んで参りたい。

新幹線駅周辺整備事業視察調査報告書

～まちづくり・新幹線調査特別委員会～

平成30年10月10日(水)～12日(金)、本特別委員会にて新潟県上越市、富山県富山市、上越新幹線越後湯沢駅、北陸新幹線長野駅を訪れ、新幹線駅周辺整備事業について視察調査を実施いたしました。第4回定例会において報告した内容を、紙面の都合上一部抜粋して掲載いたします。

◆平成30年10月11日(木) 視察先：新潟県上越市

○上越妙高駅周辺整備事業

平成27年3月に開業した上越妙高駅は、上越市の中心市街地である高田地区から南に3km離れた田園地帯に位置する。駅周辺整備事業にあたっては、自然環境に配慮した質の高いまちづくりを目標にして、平成16年度(開業10年前)から土地地区画整理事業を、平成19年度(開業7年前)から都市再生整備計画事業を行っている。

(1) 上越市新幹線新駅地区土地地区画整理事業

広域経済圏の顔にふさわしい街並み景観の形成を図るとともに、「駅周辺にぎわいゾーン」や住居系の「やすらぎゾーン」など、ゾーンごとに効率的かつ良好な土地利用を促進し、健全な市街地形成をめざした。また、施行後の公共駐車場確保のため約2.8haの用地先行取得を行った。



開発途上の上越妙高駅前

(2) 都市再生整備事業計画

【大目標】交通の利便性を活かした広域的な拠点性を強化する魅力的な都市づくり

【目標1】新しい玄関口にふさわしい地区の特性を活かした高い利便性や快適性を有する質の高い新都市空間を形成する。

【目標2】広域的な拠点性を強化し、多様な都市機能を誘導する土地利用の促進を図る環境整備を推進する。

この目標に基づき、道路、下水道、電線類地下埋設などの都市基盤整備を進めるとともに、平成22年度に策定した「新幹線駅周辺地区まちなみ形成構想」をまちづくりビジョンとして東口・西口昇降施設、自由通路、駅前広場、街区公園など、玄関口にふさわしい空間整備を行っている。

○所感

- ・新潟県の中心市街地(上越市、直江津市、高田市、妙高市等)から離れた地域に新幹線駅が建設されているため、開業当初には駅前の整備を完了しておらず、現在、乗降客の需要を見ながら開発を進めている途中である。開業後にじっくりと乗降客の動向やニーズを確かめながら設備投資を行うという慎重さは大いに参考になる。本町においても「町の駅」や道々昇格による駅周辺整備計画など検討されているが、新幹線駅開業前にすべてを性急に決定することはないと感じた。事前に用地取得はしておくべきではあるが、設備や建物の整備は、開業後の乗降客や観光客の動向を詳細にマーケティングリサーチしたうえで、需要に見合った設備投資をすることが肝要であると痛感した。